

適用問題 1年 「 10よりおおきいかず 」 ( 5 / 9 )

(1) 目標・評価規準

本時の目標	数直線を知り、数が表示することや、20までの数についての大小や系列を理解させる。
本時の評価規準	【知】数直線の特徴や性質（0が基点、等間隔の目盛り、左から右に順に1つつ数が大きくなるなど）を理解している。（ワークシート・発表）

(2) 展開

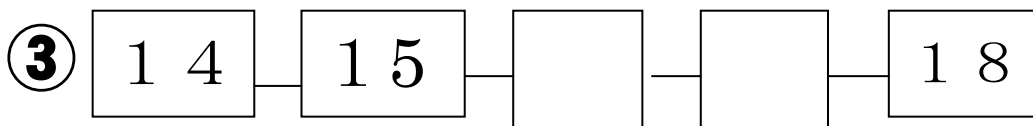
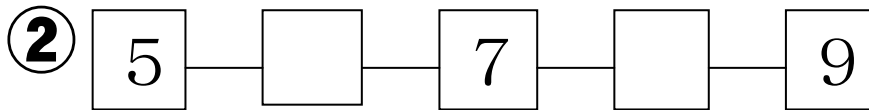
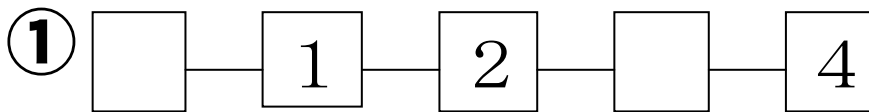
	学習活動	主な発問と 予想される児童の反応	評価規準 (評価方法)	指導上の留意点
導入 (5分)	1. 場面絵を提示し、数直線への関心を高める。	○かえるさん、ねこさん、うさぎさんがジャンプしてあそんでいます。 ○1番跳んでいるのはだれでしょう。 ・うさぎさんです。		* 体力テストを想起させながら、教材への関心を高める。
展開 (30分)	2. 問題を把握する。  3. 「かずのせん」について知る。  4. 「かずのせん」を使ってどこまで進んだか考える。 ・自力解決《言語活動》	○かえるさん、ねこさん、うさぎさんがジャンプして、どこまですすんだかかんがえよう。何かいい方法はありますか。 ・跳んだ数を数えたらいいと思います。 ○線だけでは数が数えにくいね。何か良い方法はないでしょうか。 ・線の跳びようところに数を書いたらえい ○「かずのせん」を作って考えましょう。 ・かえるさんが1、ねこさん7うさぎさんが12。		* 考えが出なければ、教師が素直に「かずのせん」を教える。  * 各自ワークシートの線に数を書く。
	5. めあてを確認し、「かずのせん」について気が付いたことをペアで話し合って発表する。《言語活動》	○「かずのせん」のひみつをみつけましょう。気が付いたことがあります。ペアで話し合って考えましょう。		* 「かずのせん」を使うとどこまで進んだか分かることをおさえる。
	6. かずのせんの性質を考えながら、問題を解く。	めあて かずのせんのひみつをみつけよう。  ○「かずのせん」のひみつを発表しましょう。 ・数が小さい順に並んでいる。 ・はじまりが0。 ・1ずつふえている。 ・かずのせんがあるとじゅんばんがかぞえやすい。 ・右にいくと数が大きくなる。 ・左にいくと小さくなる。 ○教科書P68の問題を解いて、理由をはっきりさせながら答える。 ・①11と9は、11の方が数の線で右にあるから、11が大きい。 ・②17と19は、19のほうが数の線の右にあるから、19の方が大きい。 ・③20と12では、20の方が右にあるから20が大きい。	【知】数直線の特徴や性質（0が基点、等間隔の目盛り、左から右に順に1つつ数が大きくなるなど）を理解している。（ワークシート・発表）	* ペア学習で考え発表し合う。 * 数直線の目盛りは等間隔にとってあること、基点は0であること、右に行くほど大きくなっている事を確認する。 * その数が大きくなる理由についても考えさせながら、数直線と対応して取り組むことができるようにする。

まとめ 10分	7. まとめをする。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">         まとめ かずのせんのはじまりは、0である。          みぎにすすむとかずがおおきくなる。       </div>		
	8. 適用問題をする。	○まとめを使って問題を解きましょう。	

(3) 適用問題

さんすう1ねん かずのせん  
**なまえ**( )

○かずのせんの□に、かずをかきましょう。



(4) 授業を終えて

- 全員出来ていたの、右に行くとながが大きくなるのが理解出来ていた。
- 数の線について理解できているかどうか確認できたので、本時の理解度を知る問題としては良かった。
- 初めての数の線の学習だったので、数直線の問題ではなく、数を入れる問題がわかりやすいと考えて問題を設定した。
- 数の線の学習なので、数直線の問題にしても良かったのではないかな。